

深沢省三・新渡戸稲造

岩手大学
人文社会科学部
創立40周年記念
国際シンポジウム

平成30(2018)年
3月16日(金) 13:00-17:30

於 岩手大学人文社会科学部
1号館 2階 第1会議室

【第一部】
記念講演
(使用言語:日本語)

「蒙疆」における深沢省三の美術活動

王中忱氏

(中国・清華大学人文学院教授・日中比較文学)

新渡戸稲造と近代日本の修養

王成氏

(中国・清華大学人文学院教授・日本文学)

【第二部】
シンポジウム

「漢字文化とその周辺」

シンポジスト

石野好一氏(新潟大学人文学部教授・フランス語学)

池貞姫氏(愛媛大学法文学部教授・朝鮮語学)

鋤田智彦氏(岩手大学人文社会科学部准教授・中国語学)

司会

小島聡子氏(岩手大学人文社会科学部准教授・日本語学)

※入場無料・事前申込不要

☎全体コーディネイト&問合先:

木村直弘(岩手大学人文社会科学部教授)

E-mail: kimla@iwate-u.ac.jp

URL:<http://www.iwate-u.ac.jp/event/event201803.shtml#3590>



漢字文化とその周辺の周辺

《岩手大学人文社会科学部創立40周年記念国際シンポジウム 開催趣旨》

岩手大学人文社会科学部では、このたび学部創立40周年記念行事の一環として、国内外の学術交流協定校からゲストスピーカーをお招きし、国際シンポジウムを開催いたします。

第一部は、本学部との交流協定締結校である中国トップの大学・清華大学人文学院から招聘したお二人の教授による記念講演です。まず、かつて本学部の客員教員も務められた王中忱教授には画家・深沢省三（元・岩手大学教育学部特設美術科教授）、次に、毎年本学の日本語教育実習でご協力をいただいている王成教授には新渡戸稲造と、それぞれ岩手出身の先人について、日本語でお話いただきます。両者が中国でどのように評価されているのかを知る貴重な機会です。

また、第二部は、多文化共生とグローバル教育の時代における言語の問題に着目し、同じく交流協定を結んでいる新潟大学人文学部、愛媛大学法文学部より、言語学者お二人をお招きし、さらに、本学部教員から言語学者が参加して、「漢字文化とその周辺」と題したシンポジウムを行います。石野教授の専門はフランス語学ですが、言語学者として日本語における漢字使用について問題提起し、池教授は母国語の朝鮮語表記、鋤田准教授は専門の満洲語表記に絡めて、それぞれの立場からコメントを行い、最後にフロアも含めて全体討論を行います。進行役は、日本語学が専門の本学部の小島准教授が行います。多くの方のご来場をお待ちしております。

【講演者プロフィール】

◎王 中忱（おう ちゅうしん／WANG Zhongchen）

中国・清華大学人文学院教授（中国語文学系）。東北師範大学中国語文学系卒業。大阪外国語大学大学院地域文化研究科修士課程修了。岩手大学人文社会科学部助教授（1996～1998年）、国際日本文化研究センター外国人研究員（2008～2009年）、東京大学特任教授（2012年）を歴任。専門は比較文学比較文化、日中近現代文学、北東アジア地域文化史。中国丁玲研究会会長、『中国現代文学研究叢刊』編集委員、国際日本文化研究センター編『日本研究』編集顧問。近年の主要業績に、『越境と想像—20世紀中国日本文学比較研究論集』（中国社会科学出版社、2001年）、『走読記—中国と日本の狭間で：文学雑記』（中央編訳出版社、2007年）、『事件としての文学と歴史叙述』（台北・人間出版社、2016年）、『現代主義再考—東アジアの視角あるいは漢字圏の問い』（共編著、清華大学出版社、2013年）など。

◎王 成（おう せい／WANG Cheng）

中国・清華大学人文学院教授（外国語文学系）。山東大学外国語文学系卒業。北京外国語大学北京日本学研究中心にて修士号、立教大学大学院文学研究科博士課程にて博士号取得。北京第二外国語大学講師、首都師範大学教授を経て現職。

専門は日本近代文学、中日比較文学。中国日本文学研究会理事。主な著書・論文に「近代日本における修養概念の成立」（国際日本文化研究センター編『日本研究』第29集、2004年）、「修養書における大衆啓蒙をめぐる」（『文学』、岩波書店、2006年3・4月号）、「『修養の時代』で読む文学—日本近現代文学作品研究』（北京大学出版社、2013年）、「東アジアにおける旅の表象—異文化交流の文学史』（共編著、勉誠出版、2015年）など。共訳書に、新渡戸稲造『修養』（中央編訳出版社、2009年）など。

【シンポジスト・プロフィール】

◎石野 好一（いしの こういち）

新潟大学人文学部教授。専門はフランス語学。上智大学大学院外国語学研究科博士課程単位取得満期退学。1998年、2000年NHKラジオフランス語講座応用編講師。著書に、『フランス語の意味とニュアンス』（第三書房）、『パターンで覚えるフランス基本熟語』（白水社）、『フランス語を読むために』（共著、白水社）など。

◎池 貞姫（ち ちよんひ／CHI Jong Hi）

愛媛大学法文学部教授。専門は朝鮮語学・朝鮮語教授法。大阪外国語大学大学院外国語学研究科修士課程修了。著書に、『使える朝鮮語—聞く・話す・読む・書く』（共著、白水社）など。

◎鋤田 智彦（すきた ともひこ）

岩手大学人文社会科学部准教授。専門は中国語学（特に満洲語）。早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。博士（文学）。

◎小島聡子（こじま さとこ）：司会

岩手大学人文社会科学部准教授。専門は日本語学。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得満期退学。